

県内経済動向調査結果（平成23年3月分）

平成23年 5月16日
企業活性化・雇用緊急対策本部
（産業政策課）

概 況

県内経済は、東日本大震災の発生により、製造業では電力供給や物流の制約等による操業停止・減産が生じたほか、旅館・ホテル業ではキャンセルが相次ぐなど、広範囲にわたる影響を受け、悪化している。

主な業種	状 況
製 造 業	持ち直しの動きを続けてきたが、震災の影響により生産活動が落ち込んだ。 生産額、受注額はそれぞれ前年同月比17.9%減、同14.6%減となった。3カ月先の業況見通しDIは▲22.5から▲19.5となった。
建 設 業	公共工事の減少により弱めの動きが続いている。 受注額、完工高はそれぞれ前年同月比33.2%減、同43.3%減となった。3カ月先の業況見通しDIは▲60.0から▲53.3となった。
小 売 業	震災により防災関連用品の売上が増大したものの、家電や食料品、衣料品の売上が減少した。 売上高は前年同月比5.4%減、3カ月先の業況見通しDIは▲44.4から▲65.4となった。
サービス業	旅館・ホテル業で震災により宿泊、冠婚葬祭等のキャンセルが発生し、売上額が大きく落ち込んだ。 売上高は前年同月比15.3%減、3カ月先の業況見通しDIは▲44.4から▲53.6となった。

製造業の動向

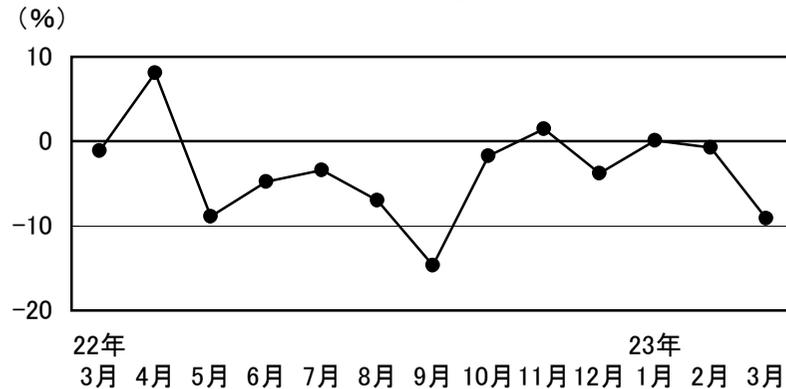
1 食料品

弱含みとなっている

生産額は前年同月比9.1%減。3カ月先の業況見通しDIは▲71.4から▲21.4となった。

震災による操業停止のため、前年同月を下回る企業があったほか、その影響で商品を廃棄・処分せざるを得ない企業も見受けられた。

食料品生産額(前年同月比)



	22年 3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	23年 1月	2月	3月
食料品	-1.1	8.1	-8.9	-4.8	-3.4	-7.0	-14.7	-1.7	1.5	-3.8	0.1	-0.7	-9.1

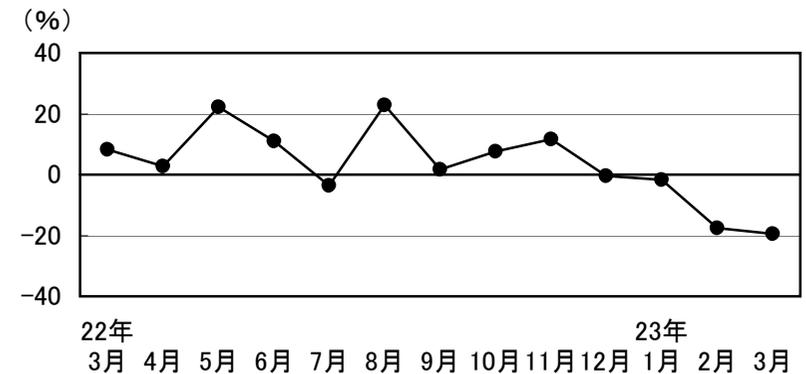
2 繊維・衣服

弱めの動きとなっている

生産額、受注額はそれぞれ前年同月比19.5%減、同19.0%減。3カ月先の業況見通しDIは▲16.7から▲83.3となった。

生産が好調な企業も一部見られるが、震災による受注減少により、前年同月比を下回った。

繊維・衣服生産額(前年同月比)



	22年 3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	23年 1月	2月	3月
繊維・衣服	8.2	2.7	22.3	10.9	-3.7	22.9	1.6	7.6	11.7	-0.5	-1.6	-17.5	-19.5

3 木材・木製品

やや強含みとなっている

生産額、受注額はそれぞれ前年同月比5.9%増、同8.1%増。3カ月先の業況見通しDIは▲20.0から▲27.3となった。

一般住宅向けの資材需要が増加していたほか、被災地の代替生産や震災需要の高まりから、前年同月を上回っている。

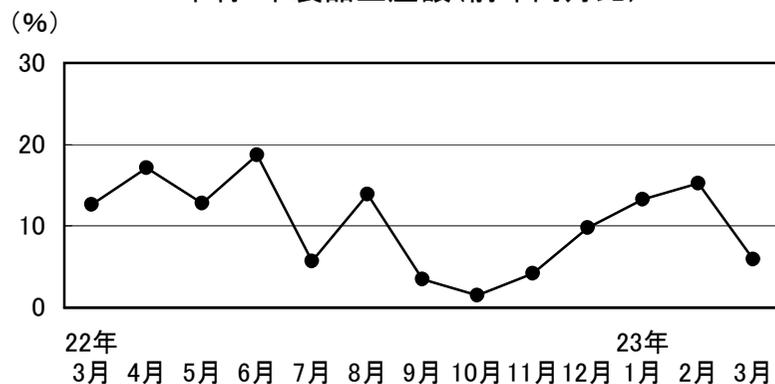
4 鉄鋼・金属製品

弱めの動きとなっている

生産額、受注額はそれぞれ前年同月比14.4%減、同2.0%増。3カ月先の業況見通しDIは▲10.0から▲40.0となった。

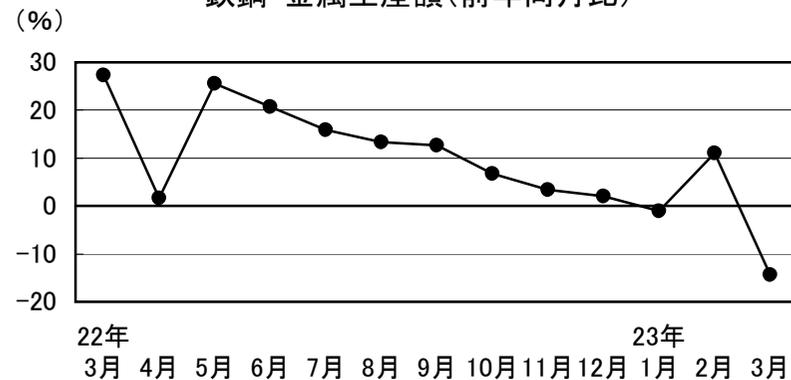
公共工事関連の一部企業で需要が減少したほか、震災による主要取引先からの受注の落ち込みや停電による操業活動の停滞から、前年同月を下回った。

木材・木製品生産額(前年同月比)



	22年 3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	23年 1月	2月	3月
木材・木製品	12.6	17.1	12.8	18.7	5.7	13.9	3.5	1.5	4.2	9.8	13.3	15.2	5.9

鉄鋼・金属生産額(前年同月比)



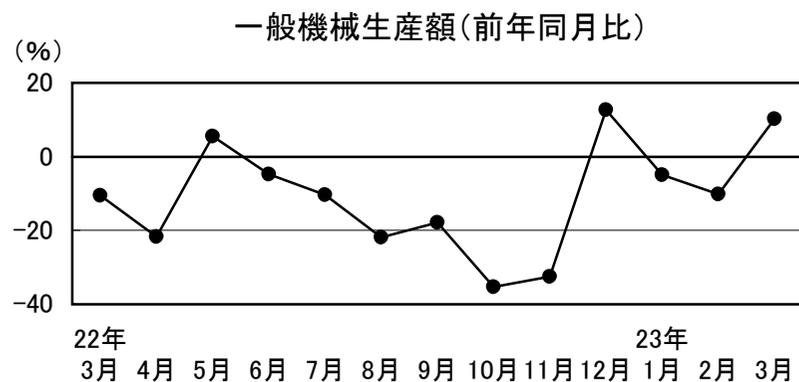
	22年 3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	23年 1月	2月	3月
鉄鋼・金属	27.3	1.7	25.5	20.7	15.9	13.3	12.6	6.8	3.4	2.0	-1.0	11.0	-14.4

5 一般機械

やや強めの動きとなっている

生産額、受注額はそれぞれ前年同月比10.2%増、同1.4%減。3カ月先の業況見通しDIは▲25.0と横ばいであった。

一部の企業で公共工事の大型案件があったことから、前年同月を上回った。



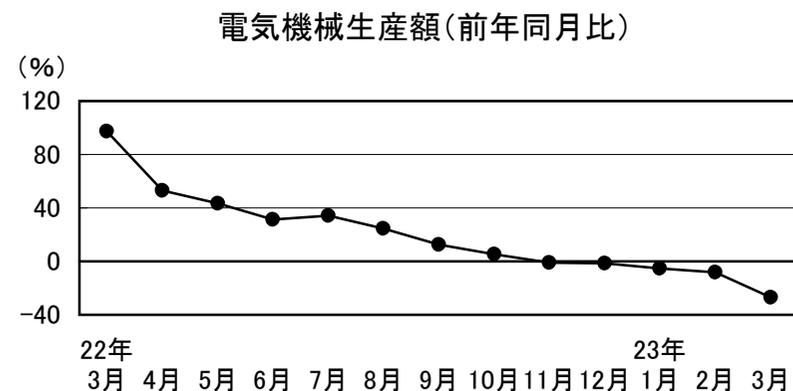
	22年 3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	23年 1月	2月	3月
一般機械	-10.5	-21.6	5.5	-4.7	-10.4	-21.8	-17.9	-35.3	-32.5	12.6	-5.0	-10.1	10.2

6 電気機械

弱含みとなっている

生産額、受注額は、それぞれ前年同月比27.1%減、同27.5%減。3カ月先の業況見通しDIは10.5から31.6となった。

製品単価の引き下げを行った企業のほか、震災による停電・節電、物流の混乱から操業活動に支障をきたした企業もあり、前年同月を下回っている。



	22年 3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	23年 1月	2月	3月
電気機械	97.2	53.1	43.6	31.4	34.4	24.5	12.4	5.5	-1.2	-1.6	-5.1	-8.2	-27.1

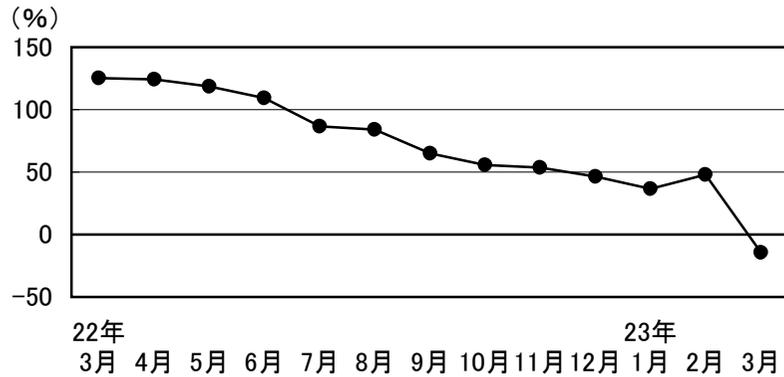
7 輸送機械

弱めの動き

生産額、受注額はそれぞれ前年同月比14.5%減、同5.3%減。3カ月先の業況見通しDIは▲50.0から▲33.3となった。

震災による操業停止や受注の減少、取引先の被災による部品調達の停滞から前年度を下回った。

輸送機械生産額(前年同月比)



	22年												23年		
	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
輸送機械	125.3	124.4	118.8	109.5	86.5	83.9	65.1	55.6	53.6	46.6	36.7	47.8	-14.5		

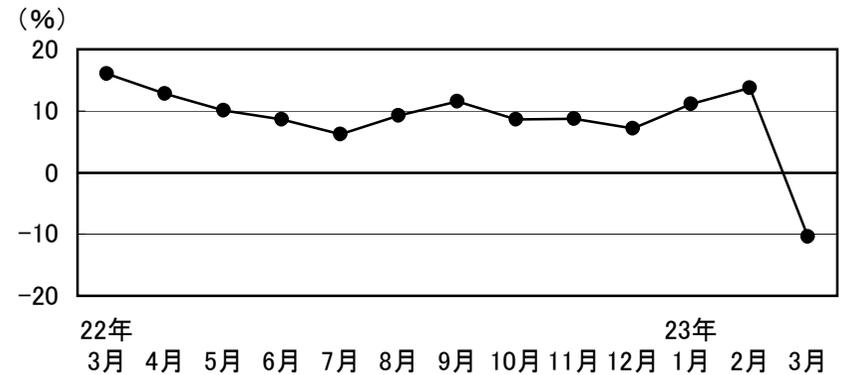
8 精密機械

弱めの動き

生産額、受注額はそれぞれ前年同月比10.4%減、同0.7%増。3カ月先の業況見通しDIは▲14.3から▲37.5となった。

震災による操業停止や物流の停滞から、前年同月を下回った。

精密機械生産額(前年同月比)



	22年												23年		
	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
精密機械	16.0	12.8	10.1	8.6	6.2	9.2	11.5	8.6	8.7	7.2	11.1	13.7	-10.4		

建設業の動向

小売業の動向

建設業

公共工事の減少により弱めの動きが続いている

受注額、完工高はそれぞれ前年同月比33.2%減、同43.3%減。3カ月先の業況見通しDIは▲60.0から▲53.3となった。

一部企業で受注額が前年同月を大幅に下回るなど、全体的な公共投資は減少傾向にあることから、弱めの動きが続いている。

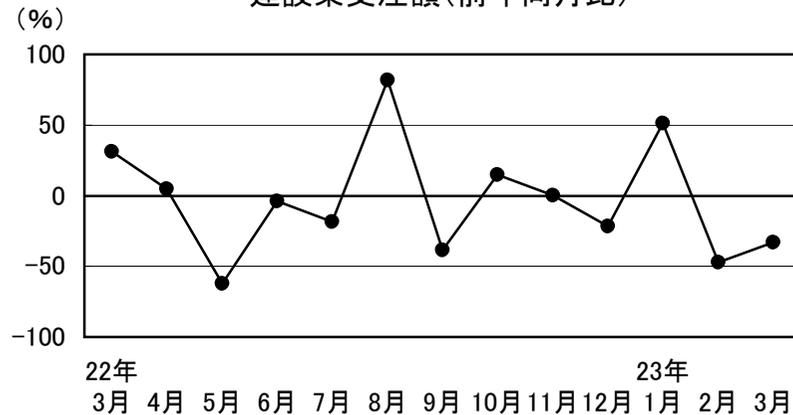
1 衣料品

弱めの動きとなっている

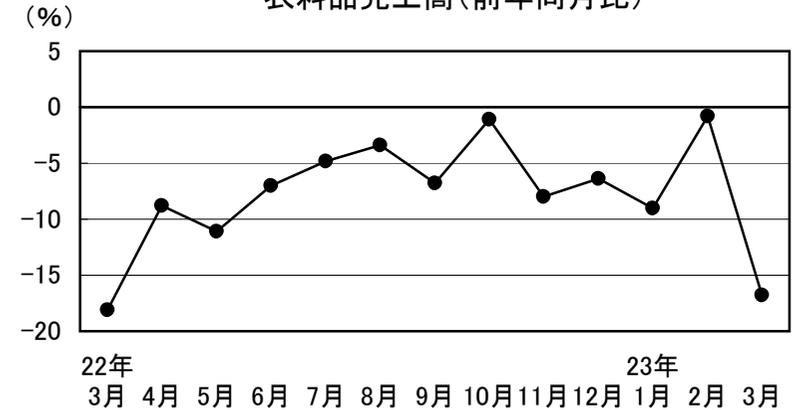
売上高は前年同月比16.8%減。3カ月先の業況見通しDIは▲50.0から▲25.0となった。

震災による買い控えにより、売上額が前年同月を大幅に下回っており、総じて厳しい状況が続いている。

建設業受注額(前年同月比)



衣料品売上高(前年同月比)



	22年 3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	23年 1月	2月	3月
建設業	31.3	4.7	-62.0	-3.8	-18.5	81.9	-38.5	14.8	0.3	-21.7	51.2	-47.3	-33.2

	22年 3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	23年 1月	2月	3月
衣料品	-18.1	-8.8	-11.1	-7.0	-4.8	-3.4	-6.8	-1.1	-8.0	-6.4	-9.0	-0.8	-16.8

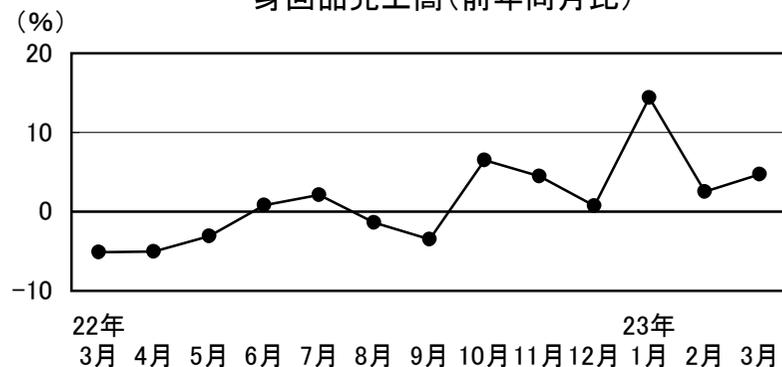
2 身回品

やや強含みとなっている

売上高は前年同月比4.7%増。3カ月前の業況見通しDIは▲42.9から▲100.0となった。

震災による買い控えがみられたが、防災関連用品の売上げが好調となり、前年同月を上回っている。

身回品売上高(前年同月比)



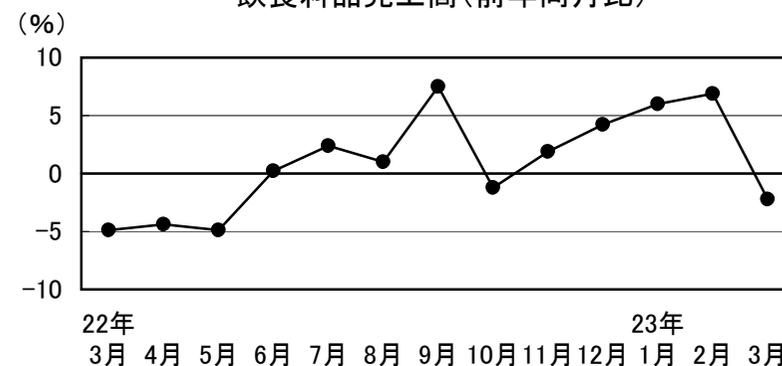
3 飲食料品

弱めの動きとなっている

売上高は前年同月比2.2%減。3カ月前の業況見通しDIは▲38.5から▲69.2となった。

震災により、加工品等を中心に一部店舗で売上が増加したが、商品供給の停滞や通常営業ができずに支障をきたした店舗もあり、全体の売上額は前年同月を下回っている。

飲食料品売上高(前年同月比)



	22年 3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	23年 1月	2月	3月
身回品	-5.1	-5.0	-3.1	0.8	2.1	-1.4	-3.5	6.5	4.5	0.7	14.4	2.5	4.7

	22年 3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	23年 1月	2月	3月
飲食料品	-4.9	-4.4	-4.9	0.2	2.4	1.0	7.5	-1.2	1.9	4.2	6.0	6.9	-2.2

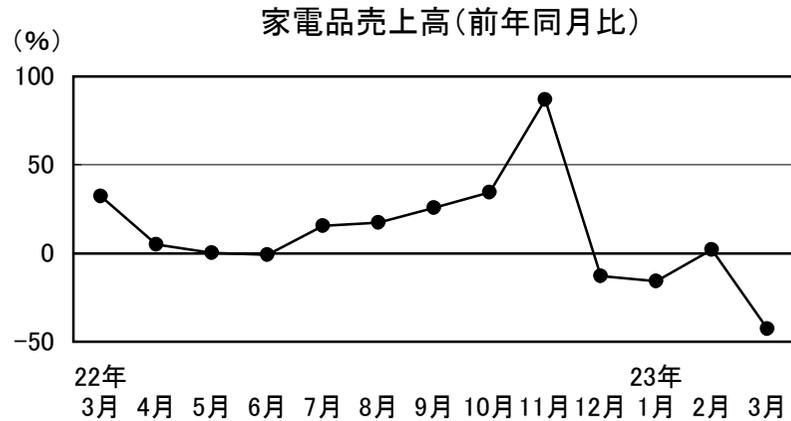
サービス業の動向

4 家電品

弱めの動きとなっている

売上高は前年同月比42.6%減。3カ月先の業況見通しD Iは▲66.7から0.0となった。

震災後、電池やラジオ等は売れたものの、営業時間の短縮により、売上が大幅に落ち込んだ。



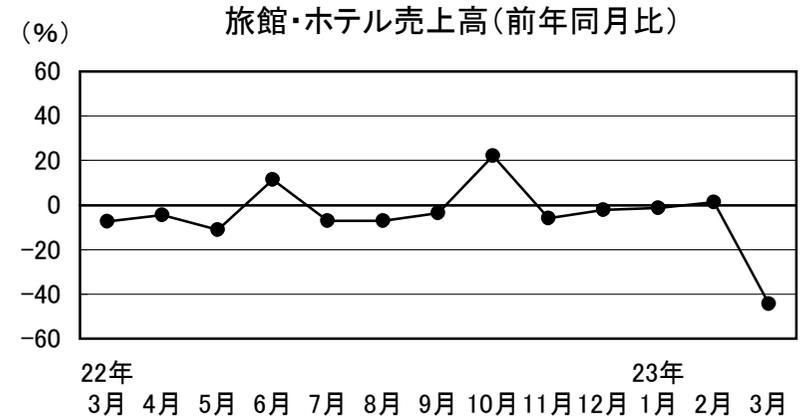
	22年 3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	23年 1月	2月	3月
家電品	32.3	5.1	0.4	-1.0	15.7	17.2	25.9	34.3	86.8	-12.9	-15.6	2.2	-42.6

1 旅館・ホテル

弱めの動きとなっている

売上高は前年同月比44.3%減。3カ月先の業況見通しD Iは▲50.0から▲66.7となった。

震災により、宿泊や宴会、冠婚葬祭などのキャンセルが相次ぎ、前年同月を大幅に下回った。



	22年 3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	23年 1月	2月	3月
旅館・ホテル	-7.3	-4.4	-11.2	11.3	-7.2	-7.2	-3.5	22.0	-5.8	-2.2	-1.2	1.4	-44.3

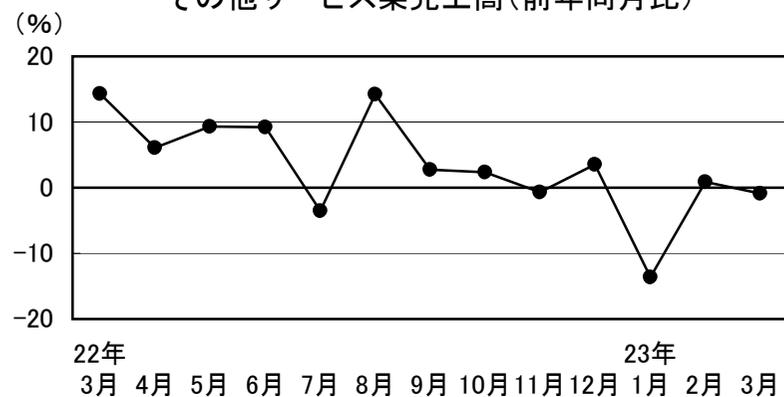
2 その他サービス

やや弱含みとなっている

売上高は前年同月比0.9%減。3カ月先の業況見通しDIは▲38.5から横ばいとなった。

運輸業で震災による一部活発な動きが見られたものの、主要取引先の受注が減少した。

その他サービス売上高(前年同月比)



	22年 3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	23年 1月	2月	3月
その他サービス	14.3	6.1	9.3	9.2	-3.5	14.2	2.7	2.4	-0.7	3.5	-13.6	0.9	-0.9